



REVO 4 IR

取扱説明書

Ver. 1.01



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は American DJ REVO4IR をご購入頂き誠にありがとうございます。REVO4IR はドット状の模様が多数出力される LED エフェクトです。ショーモード、サウンドアクティブモード、マスター/スレーブモードでの使用が可能な他、DMX コントローラーを使って操作することもできます。本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使い頂くために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。また本書が保証書となりますので大切に保管してください。

基本仕様

- DMX-512 対応(4、256DMXチャンネル)
- 赤、緑、青、白色 LED
- スタンドアローン、マスター／スレーブ
- ショーモード(12 のショープログラム内蔵)
- サウンドアクティブ機能(本体にマイクを内蔵)
- デジタルディスプレイ
- リモートコントローラー UC IR 対応(別売)
- iOS アプリケーション「Airstream IR」対応(プラグ別売)

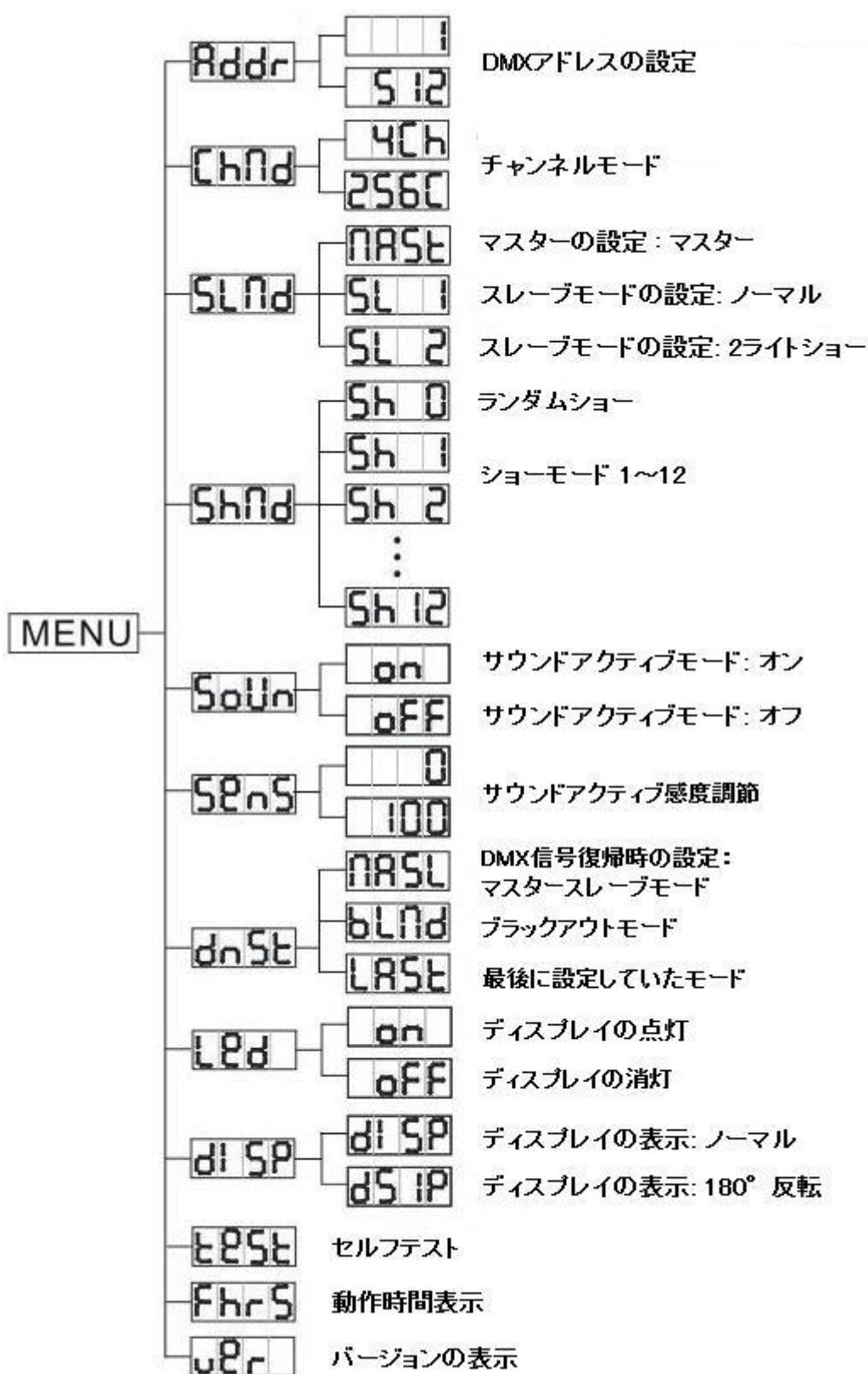
※製品の仕様は改良のため、予告無く変更する場合がございます。

安全上の注意

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認してください。本体に異常がある場合は本製品の使用を中止し、販売店にご相談ください。
2. 本体は必ず安全で、安定した場所に設置してください。電源ケーブルは踏まれたり挟まれたりすることのない場所に設置してください。
3. 本体への接続が全て完了してから本体の電源を入れてください。本体を他の機材と接続する際には必ず電源ケーブルをコンセントから外して行ってください。また、アース端子は必ず接続してください。
4. 電源、電圧が正しい事を確認してください。AC100V 50/60Hz 環境にてご使用ください。
5. 電源ケーブルを抜き差しする際は、必ずプラグを持って行ってください。
6. 感電防止のため、使用中は部品に触れないでください。本体カバーを外した状態で本製品を使用しないでください。
7. 本製品は屋内専用です。本製品を屋外で使用した場合は保証対象外となります。
8. 通気性の良い場所に設置し、布等を被せないよう、また、周囲に可燃物や爆発物、高温の物体を置かないようご注意ください。使用中は本体が熱を持つ場合がありますので、近くには何も置かないでください。
9. 本体に液体がかからないよう、また、雨天や湿気にさらさないようご注意ください。感電や火災の原因になります。
10. デイマープックからの電源供給は行わないでください。
11. 長時間使用しない場合は電源ケーブルをコンセントから外してください。

故障が生じた場合はお手数ですが販売店もしくはサウンドハウスまでご連絡ください。メンテナンス以外の目的において無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となることがあります。

メニュー



基本操作

MENU ボタンで設定するメニューを選択し、ENTER ボタンで決定します。設定を保存するには、MENU ボタンを約 2-3 秒長押ししてください。(操作終了後 1 分が経過すると、自動的に保存されます)設定を終了するには、MENU ボタンを押してください。



DMX アドレスの設定

1. MENU MENU ボタンを押します。ディスプレイの表示が Addr となるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
2. 任意の DMX アドレスを選択し、ENTER ボタンを押します。

※DMX ケーブルをコントローラーに接続した後に、DMX のアドレスを設定した場合は、MENU ボタンを約 3 秒長押しをしてください。



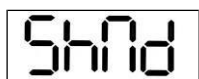
DMX チャンネルモードの設定

1. MENU ボタンを押します。ディスプレイの表示が MENU Chn となるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
2. UP/DOWN ボタンを押して、DMX 4Ch、または 256C を選択し、ENTER ボタンを押します。



マスター/スレーブモードの設定

1. MENU MENU ボタンを押します。ディスプレイの表示が SLnd となるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
2. マスターとなる灯体は mst、スレーブ 1 となる灯体は SL 1、スレーブ 2 SL 2 となるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。



ショーモードの設定 (予めサウンドアクティブモードをオフにしてください。)

1. MENU ボタンを押します。ディスプレイの表示が Shnd となるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
2. UP/DOWN ボタンを押して、任意のプリセットショーを選択します。Sh 0 は、ランダムモードです。ショーを選択したら、ENTER ボタンを押します。



サウンドアクティブモードの設定

1. MENU ボタンを押します。ディスプレイの表示が **SoUn** となるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
2. UP/DOWN ボタンを押してモードを選択します。サウンドアクティブモードにするには **ON** 、サウンドアクティブモードを解除するには、**OFF** を選択し、ENTER ボタンを押します。



サウンドアクティブ感度設定

1. MENU ボタンを押します。ディスプレイの表示が **SEnS** となるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
2. UP/DOWN ボタンを押して 0-100 の間で、マイクの感度を調節し、ENTER ボタンを押します。

※0(感度弱い)-100(感度強い)



DMX 信号復帰時の設定

1. MENU ボタンを押します。ディスプレイの表示が **dnt** となるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
2. UP/DOWN ボタンを押して下記のモードを選択し、ENTER ボタンを押します。

nASL ...マスタースレーブモード

blnd ...ブラックアウトモード

LAST ...最後に設定していたモード



ディスプレイの点灯、消灯

1. MENU ボタンを押します。ディスプレイの表示が **LED** となるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
2. UP/DOWN ボタンを押してディスプレイを点灯させる場合は **ON** 、消灯させる場合は **OFF** を選択し、ENTER **ON**→常時点灯、**OFF**→2 分後消灯)



ディスプレイ表示の回転

1. MENU ボタンを押します。ディスプレイの表示が **di SP** となるまで UP/DOWN ボタンを押します。
2. ディスプレイを 180 度回転させる場合は ENTER ボタンを押してください。表示を元に戻すには、もう一度 ENTER ボタンを押します。



セルフテスト

1. MENU ボタンを押します。ディスプレイの表示が **tPSt** となるまで UP/DOWN ボタンを押します。
2. ENTER ボタンを押すと、セルフテストを開始します。テストを終了するには MENU ボタンを押します。



灯体の動作時間

1. MENU ボタンを押します。ディスプレイの表示が **FhrS** となるまで UP/DOWN ボタンを押します。
2. ENTER ボタンを押すと、動作時間が表示されます。メインメニューに戻るには MENU ボタンを押します。



灯体のバージョン

1. MENU ボタンを押します。ディスプレイの表示が **uEr** となるまで UP/DOWN ボタンを押します。
2. ENTER ボタンを押すと、バージョンが表示されます。メインメニューに戻るには MENU ボタンを押します。

オペレーションモード

REVO4IR では以下のモードが選択できます。

サウンドアクティブモード : 内蔵マイクで感知した音に反応して、本体のプログラムが動作します。

ショーモード : プリセットショー1-12の中から任意のプログラムを選択します。

マスター/スレーブモード : 接続した複数の灯体を同期させます。

DMX コントロールモード : DMX コントローラーを接続して、任意の設定で制御します。

UC IR コントロールモード : 別売のコントローラーUC IR を接続して、遠隔操作を行います。

※Airstream IR 対応

マスタースレーブモード

最大 16 台の REVO4IR を連結して同期させることができます。1 台の REVO4IR をマスターユニットとし、その他の REVO4IR は全てスレーブユニットに設定します。スレーブユニットはマスターユニットのプログラムに合わせて動作します。REVO4IR 以外の機器は混合して接続しないでください。

[接続と設定]

1. マスターとなるユニットを 1 台選びます。
2. 各機器の背面をデジタル 3 ピン XLR ケーブルで直列に連結してください。マスターユニットが始点となるようにし、マスターユニットの DMX 出力端子に 3 ピンデジタル XLR デジタルケーブルのオスを接続します。長いケーブルをご使用の際には、最後のユニットにターミネーターを接続してください。
3. マスターとなるユニットをマスターモードに設定し、任意のショーまたはサウンドアクティブモードに設定します。
4. スレーブとなるユニットを任意のスレーブモードに設定すると、スレーブユニットがマスターユニットに合わせて動作します。

電源ケーブル

IEC ソケットを使用して、最大 12 台までの REVO4IR を接続できます。12 台を超える場合は、新たに電源を供給する必要があります。REVO4IR 以外の製品を混ぜて接続しないでください。

UC IR コントロール(別売)

ボタンの名称	ON→OFF
STAN BY	ブラックアウト→設定したモード
FULL ON	(ボタンを押し続ける)全灯→(ボタンを離す)設定したモード
FADE/GOBO	無効
“DIMMER +”/”DIMMER -”	無効
STROBE	ストロボ
COLOR	カラーモード(1-5 のボタンで色を選択可)
1-9	カラーモード使用時 1-5、ショーモード使用時 1-9 を選択
SOUND ON/OFF	サウンドアクティブ ON→OFF
SHOW 0	SHOW0(ランダムモード選択、1-9のボタンで好みのショーモードを選択 SHOW0 を 2 回押すと Show10、1 のボタンを 2 回押すと Show11

※Airstream IR コントロール(専用センサー別売)

別売の Airstream IR センサーをお手持ちの iOS 対応 iPhone、または iPad のイヤホンジャックに装着することで、上記の UCIR と同じように遠隔でコントロールすることができます。ご使用の際は、予め AppleAppStore で「Airstream IR(無償提供)」を検索しダウンロードしてください。

※ご使用時は、ヘッドフォンのボリュームを最大にしてください。

Airstream IR使用例



Airstream IR Sensor



DMX コントロールモード

外部 DMX コントローラーで制御を行います。REVO4IR には 2 種類の DMX チャンネルモードがあり、4 または 256 チャンネルのいずれかを選択することができます。

REVO4IR を DMX コントロールモードで動作させるには、まず REVO4IR と DMX コントローラーを XLR デジタルケーブルで接続します。REVO4IR は 3 ピン XLR 仕様です。各モードにおける機能の詳細は、後述の DMX 表を参照してください。

[設定方法]

1. MENU ボタンを押します。ディスプレイの表示が **Addr** となるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
2. 任意の DMX アドレスを選択し、ENTER ボタンを押します。
※DMX ケーブルをコントローラーに接続した後に、DMX のアドレスを設定した場合は、MENU ボタンを 3 秒長押しをしてください。
3. MENU ボタンを押します。ディスプレイの表示が **Chan** となるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを使用し、DMX **4Ch** または **256Ch** を選択し、ENTER ボタンを押します。
5. MENU ボタンを押します。ディスプレイの表示が **Addr** となるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
6. 任意の DMX アドレスを選択し、ENTER ボタンを押します。
7. DMX コントローラーの取扱説明書と DMX 表を参照しながら制御を行ってください。

DMX 表

- 4 チャンネル DMX モード -

チャンネル 2、3 でパターンを投影する際、チャンネル 1 の値を 10-99 の間に設定します。

チャンネル 2、3 でチェースを行う際、チャンネル 1 の値を 100-239 の間に設定します。

CH1	CH2		CH3		CH4
モード 切り替え	パターン CH1 = 10-99	チェース CH1 = 100-239	カラー CH1 = 10-99	チェース速度 CH1 = 100-239	ストロボ

240-255 サウンド アクティブ	236-255 パターン 12 215-235 パターン 11 194-214 パターン 10 173-193 パターン 9 151-172 パターン 8 130-150 パターン 7 109-129 パターン 6 088-108 パターン 5 066-087 パターン 4 042-065 パターン 3 021-041 パターン 2 000-020 パターン 1	236-255 チェース 12 215-235 チェース 11 194-214 チェース 10 173-193 チェース 9 151-172 チェース 8 130-150 チェース 7 109-129 チェース 6 088-108 チェース 5 066-087 チェース 4 042-065 チェース 3 021-041 チェース 2 000-020 チェース 1	239-255 赤緑青白 222-238 緑青白 205-221 赤青白 188-204 赤緑白 171-187 赤緑青 154-170 青白 137-153 緑白 120-136 緑青 103-119 赤白 086-102 赤青 069-085 赤緑 052-068 白 035-051 青 018-034 緑 000-017 赤	255 速 ↑ 000 遅	10-255 遅→速 0-9 オフ
--------------------------	---	---	--	-----------------------------	------------------------------------

- 256 チャンネル DMX モード -

CH1	CH2	CH3	CH4		CH253	CH254	CH255	CH256
赤	緑	青	白		赤	緑	青	白
255 100% 0 0%	255 100% 0 0%	255 100% 0 0%	255 100% 0 0%		255 100% 0 0%	255 100% 0 0%	255 100% 0 0%	255 100% 0 0%

DMX-512 について

DMX-512

DMX-512 とは照明コントローラーとその他照明機器間のデータ通信を行うための世界共通規格です。DMX コントローラーから照明機器に信号を送信し、遠隔操作を行うことが可能です。また照明機器の IN、OUT 端子を介し、DMX 信号をシリアル接続することにより複数台のユニットを操作することが可能です。その際、接続に使用するケーブルの長さをできる限り短くすることにより DMX 信号の減衰を最小限に抑えることができます。

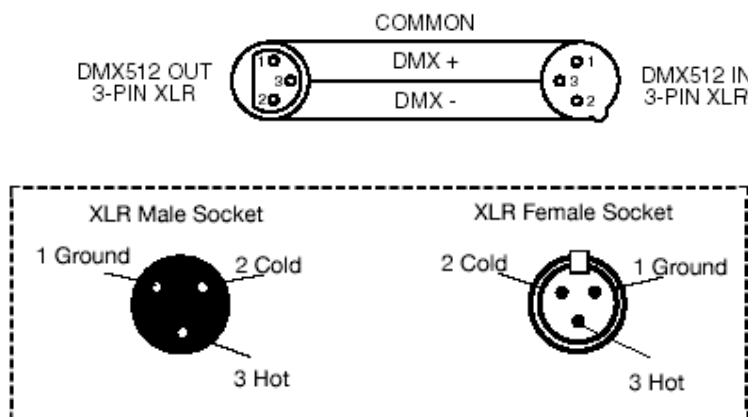
DMX リンク

DMX データの正確な送受信を行うため、ユニット間をつなぐケーブルはできる限り短いものをお使いください。また、ユニットが接続された順番と DMX のアドレス指定は関係しません。ユニットごとに任意のアドレスを設定することが可能です。

DMX ケーブル

REVO4IR は 4 又は 256 チャンネル分の DMX 信号を使用するユニットです。DMX アドレスは本体の裏面で設定してください。DMX 機器との接続は 3 ピン XLR 仕様のデジタルケーブルを使用して直列に行います。

DMX ケーブルを作る際は、以下の図を参照してください。

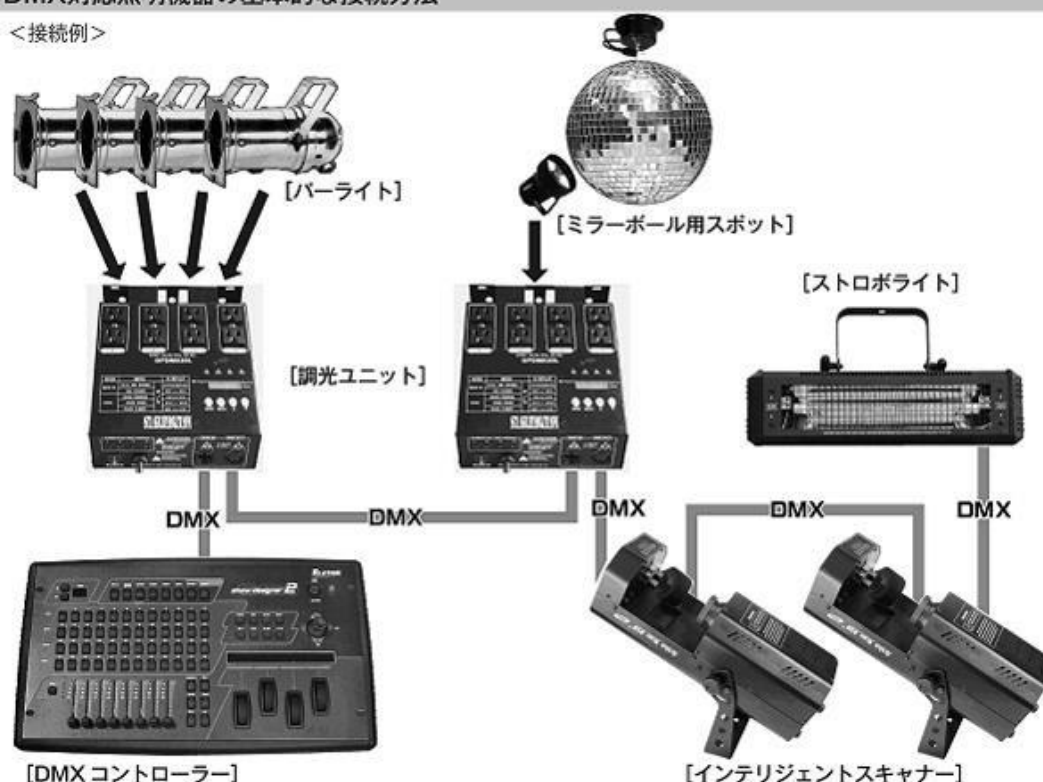


5 ピン XLR 仕様の DMX コネクター

照明機器メーカーによっては 3 ピン仕様の XLR コネクターの代わりに 5 ピン仕様の XLR コネクターを DMX 信号の通信に採用しています。5 ピン仕様の XLR コネクターを REVO4IR に接続する際は変換アダプターをお使いください。

DMX対応照明機器の基本的な接続方法

<接続例>



- ・ DMX 対応の照明機器は、上図の様に配線を行います。配線には DMX ケーブルを使用してください。接続する台数に制限はありませんので、複数の照明機器を簡単に接続可能です。
- ・ DMX 対応の照明機器を接続する順番は決まっていません。なるべく距離が長くない様に配線してください。※
- ・ 調光ユニット(ディマー)を使用し、パーライト等の明るさを調整することが可能です。
- ・ インテリジェントスキャナーやストロボ等の電源は通常のコンセントから取ってください。パーライト以外の照明機器の電源を調光ユニットから取った場合、動作が不安定になる、又は動作しない場合があるばかりか故障の原因にもなります。DMX 非対応のインテリジェントライトも同様に通常のコンセントから電源を取ってください。

※ー長距離の配線についてー

50m を超えるような配線になる場合、DMX 信号の伝達がうまくいかず照明機器の動作が不安定になることがあります。その場合、ターミネーターを作成/使用してください。ターミネーターとは最後に接続された DMX 対応照明機器(上図の場合ストロボライト)の出力に差し込むダンプラグをさします。作成の方法は下記の作成方法を参照してください。

ターミネーターの作成方法

	ターミネーターは、HOSA DMT-414をお薦め致します。
	自作される場合はオスのXLRコネクターを使用し、 120Ω 1/4Wの抵抗を、図の様に2番と3番ピンに接続しショートさせて下さい。

メンテナンス

使用頻度に応じたメンテナンスを行ってください。＜ ＞内は対応期間の目安となります。

※1 メンテナンスを行う際は必ず電源ケーブルを抜いてから行ってください。

※2 ガラスクリーナーやアルコール等でのクリーニング後は、完全に乾かしてからご使用ください。

外側のレンズ ＜一週間に一度＞

■レンズが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。

→ガラスクリーナーやアルコールなどを使用し、めがね拭き等の柔らかい布で汚れを拭き取った後、から拭きを行ってください。

通気孔 ＜一週間に一度＞

■通気孔の目詰まりなどで内部冷却が行えない場合、内部温度が上昇し故障の原因となります。通気孔に埃や汚れが付着しますと正常な内部冷却が行えません。

→通気孔についたチリや埃を掃除機で大きな埃を取り除いた後、エアードスターやブラシで残った埃を除去してください。

信号ケーブル、電源ケーブル、アダプター差込口 ＜一ヶ月に一度＞

■差込口部分に埃や汚れがつきますと、ショートし、灯体が正常に作動しない恐れがあります。

→エアードスターやブラシで埃を除去してください。差込口にぐらつき等がないかご確認ください。

ネジ ＜三ヶ月に一度＞

■各部位のパーツが正しく固定されていないと、パーツ等が落下する恐れがあります。

→各パーツが正しく固定されているか、ネジの山がつぶれていないかご確認ください。

故障かな？と思ったら

製品が正しく動作しない場合は、まず下記をご確認ください。下記の方法でも症状が改善されない、またその他不具合が確認された場合は、販売店もしくは正規代理店までお問い合わせください。

症状	確認事項
電源が入らない	- 正しい電源・電圧に接続されているか - 電源ケーブルが損傷していないか - ヒューズが切れていないか
DMX で動作しない	- 接続に問題がないか - 正常な DMX ケーブルを使用しているか - DMX アドレスが正しく設定されているか
サウンドアクティブで動作しない	- 外部音が小さい音や高音でないか - マイク感度が低く設定されていないか
マスター/スレーブモードで動作しない	接続された機器の内、1 台のみがマスター機に設定されているか

ヒューズ交換方法

1. 電源ケーブルを抜いてください。
2. 電源ケーブル差込口の下あるヒューズホルダーをマイナスドライバーで引き出します。
3. ホルダー内のヒューズを新しいものに交換し、ヒューズホルダーを本体に取り付けます。

製品仕様

LED	256 個(赤 64、緑 64、青 64、白 64)
ビーム角	35 度
ヒューズ	2 A タイムラグ
消費電力	34 W
使用電圧	AC100V、50/60Hz
寸法	31.2(W) × 30.6(H) × 33.4(D) cm
重量	4.9 kg

※製品の仕様は改良等のため、予告無く変更される場合がございます。



保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より 1 年間有効

■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より1年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取り扱い方法が不適当（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみに有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。